

研究代表者氏名	湯川秀樹
---------	------

## 研究目的(つづき)

[illegible]

## 研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、平成19年度の計画と平成20年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ記述してください。ここでは、研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、次の点についても、焦点を絞り、具体的なかつ明確に記述してください。

研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者（海外共同研究者、科学研究費への応募資格を有しない企業の研究者、大学院生等（必要に応じ氏名、員数を記入することも可））の具体的な役割（図表を用いる等）、及び研究分担者とともに行う必要がある場合には、学術的観点から研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性

研究代表者が、本研究とは別に職務として行う研究のために雇用されている者である場合、または職務ではないが別に行う研究がある場合には、その研究内容と本研究との関連性及び相違点

初年度は、まずインドとアフリカに行き、最新の技術を駆使して空と陸の両面から象の卵を探す。

[illegible]

研究機関名	逢坂大学
-------	------

研究代表者氏名	湯川秀樹
---------	------



**人権の保護及び法令等の遵守への対応**（該当者は必ず記述してください（公募要領7頁参照））

（本欄には、本研究に関連する法令等を遵守しなければ行うことができない研究（社会的コンセンサスが必要とされている研究及び生命倫理・安全対策に対する取組が必要とされている研究等）を含む場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。）

象の卵のES細胞の培養、象のクローンの生成などは行わない。象個体を現地から持ち出すことはない。ワシントン条約ならびに生物多様性条約に抵触しない。また、組換え実験は行なわないので、カルタヘナ議定書にも抵触しない。

**研究分担者に分担金を配分する理由**（該当者は必ず記述してください（公募要領8頁参照））

（本欄には、研究分担者に分担金を配分しないと研究遂行上大きな支障が生じる理由を記述してください。）

研究者が生物学、化学、物理、工学と多岐にわたっており、初めに分けておかないと後で收拾がつかなくなる可能性が高いため。

**研究経費の妥当性・必要性**

（本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備備品費、旅費、謝金等）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。）

「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえると、次頁以降に記入する研究費は妥当、かつ必要であり、積算根拠も妥当である。

研究機関名 逢坂大学

研究代表者氏名 湯川秀樹

設備備品費の明細				消耗品費の明細				
(記入に当たっては、萌芽研究 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。)								
年度	品 名・仕 様 (数量×単価) (設置機関)			金 額	品 名		金 額	
1 9	タケコプター(藤子不二雄社)(20×1,230)(ケニア大)			24,600	タケコプター燃料 象の餌代(干し草、リンゴ、水) 卵切断用のこぎり		56,789 100,000 3,000	
	小計			24,600	小計		159,789	
20	高圧水タンク・1万気圧(2×34,500)(天王寺動物園) 大型フライパン(3×2)			69,000 6	ハードディスク 水道代		1,000 500	
	小計			69,006	小計		1,500	
総計				93,606	総計		161,289	
旅費等の明細 (記入に当たっては、萌芽研究 研究計画調書作成・記入要領を参照してください。)								
年度	国内旅費		外国旅費		謝金等		そ の 他	
	事 項	金 額	事 項	金 額	事 項	金 額	事 項	金 額
1 9	研究打ち合わせ 調査	500 1,234	資料収集 調査 打ち合わせ	1,000 3,000 1,000	パイロット報酬 ハンター賃金	3,000 2,000	通信費 卵運搬費 ジープ借料	800 4,000 4,000
	小計	1,734	小計	5,000	小計	5,000	小計	8,800
2 0	研究打ち合わせ 成果発表	600 400	調査 成果発表	4,000 1,000	パイロット報酬 ハンター賃金	3,000 2,000	通信費 卵運搬費 ジープ借料	800 5,000 4,000
	小計	1,000	小計	5,000	小計	5,000	小計	9,800
2 1	研究打ち合わせ 成果発表	600 400	調査 成果発表	4,000 1,000	実験補助	2,000	印刷費 成果発表費用	200 300
	小計	1,000	小計	5,000	小計	2,000	小計	500
総計		3,734	総計	15,000	総計	12,000	総計	19,100

本欄は、第2段審査（合議審査）において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところであり、研究代表者の、応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、点線を引いて区別して記入してください。

「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

科学研究費補助金の「特定領域研究」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。

所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

研究代表者氏名	湯川秀樹
---------	------

研究費の応募・受入等の状況・エフォート（つづき）					
（２）受入予定の研究費					
資金制度・研究費名・研究期間（配分機関等名）	研究課題名（研究代表者氏名）	役割（代表・分担の別）	平成19年度研究経費（期間全体の額）（千円）	エフォート（％）	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
萌芽研究（H19～H23） 天王寺動物園	カンガルーの卵（最上秀樹）	分担	1,234 (5,678)	23	カンガルーは有胎類であり、カモノハシとの系統関係からするとあの袋に卵を隠している可能性がある
（３）その他の活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。         </div>				1	
<b>合 計</b> （上記（１）、（２）、（３）のエフォートの合計）				100 (%)	